

傷病手当金の支給について

1 経緯

国は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策－第2弾－」において「国民健康保険及び後期高齢者医療において、新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被用者に傷病手当金を支給する市町村等に対し、支給額全額について国が特例的な財政支援を行う」ことを示し、後期高齢者医療広域連合等に対し傷病手当金の支給について検討するよう通知しました。

そこで、広域連合では、感染拡大を防止するためには新型コロナウイルス感染症に感染した被用者が安心して療養できる環境を整えることが重要であるとの考えから、埼玉県後期高齢者医療に関する条例を改正し、傷病手当金の支給を行うこととしたものです。

2 支給対象者

新型コロナウイルス感染症に感染した被用者（発熱等の症状があり感染が疑われる者を含む）

3 支給要件

労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日から労務に服することができない期間

4 支給額

直近の継続した3月間の給与収入の合計額を就労日数で除した金額 $\times 2 / 3$
 \times 日数

上限は日額 30,887 円

5 支給適用期間

令和2年1月1日から同年9月30日の間で療養のため労務に服することができない期間（ただし、入院が継続する場合等は健康保険と同様、最長1年6月まで）

6 支給実績（令和2年7月31日現在）

支給人数：1人